

今後のセンターの運営への影響が懸念される主な設備等一覧(勤労者総合福祉センター)

設備等	現状
中央監視装置	<ul style="list-style-type: none"> ・経年による老朽化等により、入力操作等に不具合が生じている。 ・構成部品の多くが生産を終了しており、部品交換による修繕が難しい。 ・館内機器全般の制御機器であるため、故障した場合の影響が大きい。
冷温水発生機更新(1・3号機)	<ul style="list-style-type: none"> ・耐用年数を超えている。 ・3号機は溶液レベル異常により暖房期の稼働を停止している。 故障により稼働を停止していた2号機は平成29年度に更新済。
冷却塔	<ul style="list-style-type: none"> ・経年による充填剤の剥離、送風機の劣化が見られる。
屋上動力制御盤更新	<ul style="list-style-type: none"> ・経年による外装の痛み、雨水の浸入等による錆の発生等が見られる。 ・内部機器類も経年劣化が進行している。
屋上冷温水一次、二次ポンプ	<ul style="list-style-type: none"> ・経年によるポンプ、モーター、パルプ類の劣化が見られる。
ホール・舞台照明用電源盤、調光盤	<ul style="list-style-type: none"> ・経年により、各種構成部品に劣化が見られる。 ・構成部品の多くが生産を終了しており、部品交換による修繕が難しい。 ・故障するとホール・舞台の運営が困難となる。
東面・西面外壁タイル	<ul style="list-style-type: none"> ・経年により、各所にタイルの浮きが発生している。 北面は平成29年度に修繕済、南面は修繕の優先度が比較的低い。